

石狩地区 新規就農者紹介



萬福農研(千歳市)

2023年7月取材

山口 善之さん 山口 彩里さん

就農年:2022年4月

作物:ミニトマト、かぼちゃ、すいか

「萬福農研」Instagramはこちら→



【夏の農作業ポイント】

雨の日が少ない時の畑の水まき

降水量が少なかったこともあり、2～3日に1回かぼちゃ畑に水まきしています。500リットルの水をトラクターに積み、1回の水まきに6時間かかるので、作業完了は夜遅くなることもあります。

【作物の生育状況について】

●ミニトマト

去年は主枝1本で栽培していましたが、今年は脇芽をいかして枝を2本にし、収穫量を増やしています。

また、病気対策として湿度管理や実より下についている葉・脇芽取りをこまめに行っています。悪天候も少なく、順調に生育しています。

●すいか

すいかの生育促進や生産の安定を図るため、一緒に夕顔を植え、すいかの茎と夕顔の茎を癒着させる「接ぎ木」を行っています。

【ほ場風景】



(ハウス内のミニトマト1)



(ハウス内のミニトマト2)



(「接ぎ木」したすいか1)



(「接ぎ木」したすいか2)



(かぼちゃ1)



(かぼちゃ2)

石狩地区 新規就農者紹介



【就農のきっかけ】

大学卒業後、北海道の農産物や海産物を本州に販売する卸売会社に就職しました。道内の農家や農協を回る中で、北海道の農産物に魅力を感じ、「自ら農産物を作りたい」と思い、就農を決めました。

新規就農者のバックアップ体制が充実している道央農業振興公社で2年間基礎的・実践的な技術を学び千歳市で就農しました。

【就農して感じたこと】

就農初年度は、作付けした作物の一部がうまく成長せず苦労しましたが、農業はすべてにおいて自己責任なのでやりがいがあり、楽しいと感じています。

萬福農研(千歳市)

2023年5月取材

山口 善之さん 山口 彩里さん

就農年:2022年4月

作物:ミニトマト、かぼちゃ、すいか

「萬福農研」Instagram はこちら→



【今後の目標】

通年雇用が生まれる農業

『農福連携』に取り組みたい

今後はハウスを増設して雇用を生み出すほか、障がい者等が活躍できる環境を生み出し、お世話になっている地域の方々に恩返ししたいです。

【ほ場風景】



(ハウス内のミニトマト1)



(ハウス内のミニトマト2)



(萬福農研のほ場)

【活用した事業】

- ・ 新規就農者育成総合対策のうち『経営発展支援事業』
『経営開始資金』
- ・ 青年等就農資金